

副議長になりました！

第4回市議会（臨時会）を7/29～30の間に行いました。例年、この時期に臨時会は行われています。この度は副議長の選挙などを行い、副議長に選出されました。

コロナにより先の見通せない時代になっていますが、市政発展のために力を尽くして参ります！



補正予算（第5回）

図書館に要する経費（加古川図書館等）：6400万円

ヤマトヤシキに移転する加古川図書館の運営委託料（半年分：5600万円）と、自習室を使う学生のために自転車置き場を無料にするための経費など。

リョータがゆく！ともに成長・子育て日記

子供は早く寝ましょう！ということで、遅くとも9時には寝かしつけに入ります。最近では子供が絵本を1冊読んでから電気を消すのが流れなのですが、同時に寝入ってしまうことが多々ありまして…。困るのは、12時過ぎなどに起きて用事をしているうちに寝られなくなるパターン。ならば、そのまま朝まで寝て、4～5時ごろに起きる方が良いのではと思っております。朝にランニングや読書をするのも良いですね！起きられたらですが…。

中村亮太 PROFILE

1981年4月4日生まれ 平成22年より現職・3期目 白陵中学・高校 関西学院大学法学部卒、神戸大学大学院 博士課程前期修了（政治学修士） 尊敬する人物は後藤田正晴・三木武吉・土方歳三 加古川町木村在住。木村町内会顧問。

後援会員募集中！

なかむら亮太後援会では、後援会員を募集しております。会員の皆様には、後援会報のほか様々なお案内を差し上げます。また同時に、市政報告書をご近所にお配りいただけるボランティアの方、後援会看板をご自宅や店舗等に設置いただける方も募集しております。ぜひ、下記までご連絡下さい。

TEL：079-427-9309（会派控室）・079-425-3811 / FAX:050-3156-1255 / E-MAIL：info@ryotanakamura.com HP：https://ryotanakamura.com/

なかむら
亮太



RYOTA NAKAMURA



未来へ！挑戦と責任。
～次世代に誇れる加古川のために～



加古川市議会議員

りょうた
なかむら亮太

<https://ryotanakamura.com/>

令和3年度第3回定例会

| | | |
|--------|------------------------|--------|
| 議案第58号 | 令和2年度加古川市一般会計補正予算（第3回） | 全会一致可決 |
| 議案第71号 | 令和2年度加古川市一般会計補正予算（第4回） | 全会一致可決 |

補正予算について

第3回

| 会計 | 補正前の予算額 | 補正額 | 補正後 |
|------|--------------|------------|--------------|
| 一般会計 | 927億5349万2千円 | 1億9801万3千円 | 929億5150万5千円 |

福祉避難所施設改修事業補助金（620万円）

福祉避難所を運営する施設で、受け入れ枠の拡大や導線分離などを目的にした改修を行うものに補助を行う。（310万円上限×2施設）

第4回

| 会計 | 補正前の予算額 | 補正額 | 補正後 |
|------|--------------|------------|--------------|
| 一般会計 | 929億5150万5千円 | 1億3945万1千円 | 930億9095万6千円 |

生活困窮者自立支援金給付事業（1億3800万円）

社会福祉協議会が実施する総合支援資金の再貸付が終了するなどの理由により特例貸付を利用できない世帯に対して、支援金を給付する。

1. 職員研修の在り方について

ユースチャレンジ研修について

目的

市民視点をもった、市民との協働ができる職員の育成

手法

加古川ツーデーマーチや加古川マラソンなど、市が主催する行事に若手職員（4年目まで）が従事する。

Q1：コロナで行事は中止だが、どうする？

A：ユースチャレンジ研修の実施は見送る。若手職員もワクチン接種業務に従事しており、そこで市民と触れ合いながら市民視点を養っており、ユースチャレンジ研修と同じ効果があると考えている。

Q1再：ワクチン接種は業務。これを機に、研修を見直す必要があるのでは？

A：ユースチャレンジ研修は、今のままでは駄目だと感じる。見直しをしてゆく。

2. 補助犬をとりまく環境について

質問の背景

身体障害者補助犬法が2002年に公布され、補助犬の同伴を原則として拒んではいけないことになっている。しかし、現実には入店拒否をされる等の経験がある補助犬ユーザーは半数を超えており、理解が進んでいない。自治体として、補助犬に対する理解促進を行うべきと考え、質問しました。

質問の背景：手法が違うのでは？

加古川に所縁のない若手職員も増える中、市民と触れ合うことで、協働ができる職員の育成は必要。

しかし、**手法が問題**。

1日だけの参加で本当に協働の意識が育てられるのか（目的達成できるのか）？

Q2：協働の意識付けは？

A：令和元年度に、16の市民団体の方々と職員の合同研修を行った。交流を通して協働の意義を体験できるプログラムを取り入れており、職員にも好評だった。昨年度は実施できなかったが、市民協働部とも連携し、今年度は実施をしたいと考えている。

研修で協働し、そこでできた人脈や人間関係から活動へと結びつけられるような人材を育てるべき！そのような研修になるように見直しをしていただきたい。



補助犬とは（画像：目黒区 HP より）

Q1：補助犬の現状と理解促進策は？

A：加古川市に現在のところ、ユーザーはいない。理解促進では、社会福祉協議会の福祉学習や、市もパンフレットで啓発活動を行うなかで進めている。

Q2：ほじょ犬マークの活用は？

ほじょ犬マークとは？

身体障害者補助犬法の啓発のためのマーク。厚労省が無料で配布している。

A：市内に10カ所ほど多目的トイレがある。ユーザーが安心して利用でき、またユーザー以外への理解を促すために有効なものであるため、関係部署と調整し、ほじょ犬ステッカーを貼るように進めていきたい。



補助犬は体の一部

いると世界が広がる

入店拒否をされることも多い。本当は仲間にも広めたいけど…

多目的トイレの利用を拒否される…



ほじょ犬
マーク

3. 動物への無責任な餌やりとその対策について

質問の背景

飼い主のいない犬や猫、鳥への餌やりを行う人がおり、近隣住民とトラブルになるケースも多い。「無責任な餌やりを禁止する条例」を定めた方が、職員も指導しやすいのではないか。また、公園など市の管理する施設では、もっと強く禁止の意思をしめすべきではないか。

Q1：条例制定についての考えは？

A：動物による生活環境の保全上の支障は防止せねばならない。苦情があれば、現地確認して自粛をお願いしている。現状は指導によって解決しているケースが多いため検討まで至らないが、市の助成金制度の推移や効果も見ながら手法を検討していく。

Q2：公園内での餌やり対策は？

A：公園管理者として適切な管理が必要である。そのため、猫やハトへの餌付けを含む迷惑行為の防止のため、条例を改正して運用を始めた。公園内では餌やりを禁止し、苦情のあった公園には（鶴林寺公園、金剛寺浦公園を含む）看板も設置して啓発している。

意見！

現在はラミネート加工の看板なので、しっかりと予算をとって正式な看板を設置してもらいたい。（右：神戸市の例）

無責任なエサやりはやめましょう

